縄タイムス
第3種郵便物認可

那覇西速攻V2

ハンド九州高校選抜県予選

ハンドボールの第36回琉球新報旗争奪九州高校選抜大会県予選最終日は22日、ANAアリーナ浦添で決勝を行い、女子は那覇西が浦添を23―17で破って2年連続12度目の優勝を果たした。男子は興南がコザを36―23で退け、3年連続29度目の頂点に立った。

男女上位2校は来年2月、東風平体育館ほかで開かれる九州高校選抜大会に出場。男子は上位6校、女子は7校が全国高校選抜大会（3月、埼玉県・千葉県）の出場権を獲得する。

【男子】
▽決勝
興南 36（19―13、17―10）23 コザ

【女子】
▽決勝
那覇西 23（10―6、13―11）17 浦添

女子 隙突く攻め 連続得点

女子那覇西は隙を突く攻撃で浦添に23―17で勝利し、大会2連覇を果たした。

7―5の前半22分、フリースローを得た相手がなかなかリスタートせずにファウルとなり、那覇西ボールとなった。素早いプレー再開でパスをもらった主将の久場川かりんは「最初に走りだした自分が決めようと思った」。速攻からGKとの1対1を制して3点差に広げると、金城菜々子も連続得点で続き、チームを楽にした。

GKの兼城桃花も好セーブでリズムをつくった。11月の新人大会決勝ではリードを許し、後輩の比嘉楓に交代した。悔しさから練習に熱を入れ、GK仲間からの助言で動きを修正。「相手よりも先に動いたら負け。打った瞬間に反応して止めることができた」と自信を得た。

堅守速攻を掲げるチームは成長途上で、後半にはパスやキャッチミスなどから1点差に詰め寄られる苦しい場面も。久場川は「波の激しい試合が多い。もっと成長しないといけない」と、昨季準優勝の九州大会に向け、気を引き締めた。（又吉健次）

ハイライト

女子決勝　那覇西―浦添　前半24分、那覇西の金城菜々子が9点目のシュートを決める＝ANAアリーナ浦添（田嶋正雄撮影）

女子優勝の那覇西

男子優勝の興南

男子興南 3連覇

7人攻撃 堅守で阻む

男子決勝　興南―コザ　前半7分、興南の宮里優雅が5点目のシュートを決める

苦手の7人攻撃に苦しみ、接戦に持ち込まれた男子興南。守備を修正すると8連続得点で一気に突き放し、コザに36―23で快勝した。

GKをベンチに下げて攻め手を1人増やすコザの7人攻撃に、興南の守備はマークにずれが生じた。主将の瑞慶山充貴は「リズムがつかめなくて、自分たちのプレーができなかった」と振り返る。

6人での横一線の守備から前に1人置き、サイドに相手を追いやって失点を止めると流れが生まれた。個人技に秀でた選手が次々と速攻を決め、チーム最多7得点の屋比久友揮は「守備が成功したことでチームに元気が出た。GKを見てうまくシュートを打てた」と笑顔で話した。

九州大会は沖縄で開かれる。瑞慶山は「まず1勝して全国選抜の切符を手にしたい。そして昨年優勝の先輩たちに並びたい」と意欲を燃やした。